



みずほ

第 10 号

平成17年12月 1日

発行  
岐阜県瑞穂市議会

編集  
瑞穂市議会広報編集委員会

# 市議会だより



元気にお遊戯する西保育教育センターの園児（＝ふれあいフェスタ2005会場にて）

平成17年第3回  
瑞穂市議会  
定例会

## 17年度補正予算決まる ..... 2p

- 補正予算・付帯決議を可決 ... 3・4p
- 一般質問 ～市政を問う～（12人）..... 6p
- 市長給料の2割減額案・意見書 ... 5p
- 議員紹介 ..... 12p

平成17年第3回瑞穂市議定例会が、9月20日から32日間の会期で開会した。本定例会には、市長から提出された議案29件のほか、議員が提出した条例改正案1件、意見書3件などを審議した。議員提出の条例改正案を否決、その他の議案はすべて可決し、10月21日に閉会した。

# 17年度補正予算決まる

◎一般会計補正予算 …………… 10億5580万8千円  
(補正後の予算額は128億7942万2千円)

## 歳入の主な内容

- ◎地方特例交付金…国から恒久減税を補うため交付されます。 △7155万円
- ◎地方交付税…国から市の財政状況に応じて交付されます。 △2458万円
- ◎繰越金…前年度から持ち越したお金です。 9億6924万円
- ◎市債…大きな事業を行うため国や金融機関から借り入れたお金です。 1億2900万円

## 歳出の主な内容

- ◎総務費
  - 行政事務アウトソーシング委託料 1400万円
  - 公共施設アスベスト調査委託料 1000万円
  - 公共施設整備基金積立金 6億9300万円
- ◎民生費
  - 自治会公民館補助金 1446万円
  - 障害者福祉施設整備費 2300万円
  - 未来志向研究プロジェクト等委託料 800万円
  - 仮称本田コミュニティセンター設計委託料 △500万円
  - 民間児童厚生施設等活動推進事業補助金 686万円
  - 子育て支援拠点整備費 3211万円
- ◎農林水産業費
  - 柿産地構造改革支援基金造成事業補助金 287万円
- ◎土木費
  - 駅前対策事業費 1億5542万円
- ◎教育費
  - 西・中ふれあい広場整備事業 1億100万円
- ◎その他の補正予算

	補正額	補正後の予算額
国民健康保健事業特別会計	2億2079万3千円	34億550万1千円
老人保健事業特別会計	4017万1千円	27億9921万9千円
学校給食事業特別会計	32万9千円	2億7588万3千円
下水道事業特別会計	52万9千円	2億8927万2千円
農業集落排水事業特別会計	19万6千円	2826万3千円
コミュニティ・プラント事業特別会計	0千円	1億9879万8千円
計	2億6201万8千円	69億9693万6千円

## 補正予算 可決

平成17年度一般会計補正予算(第3号)が提出された。

補正予算は、10億5580万8千円を増額し、補正後の予算額を128億7942万2千円とするもので、前年度の繰越金9億6924万円を主な財源とし、公共施設のアスベスト調査委託料に1000万円、子育て支援拠点整備費に3211万円を支出するなどの内容であった。「主な内容は2ページをご覧ください」

議会は10月3日に総括質疑を行い、総務常任委員会に付託した後、議会最終日の10月21日に本会議で採決し、賛成多数で可決した。

審議の主な内容は次のとおり。

### 公共施設整備基金積立金

6億9399万円

Q 前年度からの繰越金が約12億2千万円あり、当初の見込みと比較しても約9億7千万円の財源ができたことになる。市民の皆さんの貴重な税金で預かった財源なので、本来なら今年度の事業や施策として執行すれば分かりやすいが、約7億円を基金に積み立てた理由は、

A 17年度は長期的に必要な施策についての基礎固めをする年であると思っ



### 駅前対策事業費

1億5542万円

ている。これから本田のコミュニティセンターや給食センターの統合などに多大な資金を要する。長期的な視点の中で財政バランスを考えている。

Q 土木費の駅前対策事業費の内容は、みずほバスターミナルの土地購入費と工事費などである。工事費はトイレやシエルトの整備、境界フェンスや排水の工事も含んでいる。土地購入にあたっては合併特例債を利用する。

### 公共施設アスベスト調査

1000万円

Q 公共施設のアスベスト対策は、市の公共施設は72施設、134棟ある。アスベストは建築資材のほか電線の被覆材など、いろいろな分野で使用されており、専門機関に調査を委託する。

Q アスベストを直接吹き付けたり、壁材や屋根材や内装材として使用した公共施設があるかどうかを、まず建築物の設計図書から確認し、その後現場調査をする。

調査の結果でアスベストの使用が確認されたら、その施設の使用状況に応じて、除去、封じ込め、囲い込みなどの安全対策を専門機関と協議して行いたい。

Q 調査結果の公表は、多くの市民の皆さんが非常に注目されている。当然お知らせする。

### 西・中ふれあい広場整備事業

1億100万円

Q 奥南地区のふれあい広場は、中・西・南と3地域にある。この事業費は、借地となっている西・中ふれあい広場の用地を購入すると説明があったが、3つの広場の借地面積などは、

A 中が1万2387㎡、西が1万532㎡、南が956㎡である。この事



業費の中には不動産鑑定や測量の委託料も含まれている。つまり、これから購入単価などが決まるので、どれだけの面積を購入できるか分からないが、売却の希望があれば順番に計画的に購入していきたい。

## 子育て支援拠点整備費 3211万円

**Q** 別府保育所の用地取得と子育て支援拠点は。

**A** 就学前のお子さんを子育てするお母さん方の交流や触れ合いができる機能、子育て相談など総合的な子育てに對してのサポートができる機能などを持たせた拠点を別府保育所の整備と併せて考えている。



**Q** 整備予定用地の場所と面積は。  
**A** 今の別府保育所の敷地は5200㎡、今用地を取得しようとしているのが、本業縦貫道の西側で4600㎡

である。西側に保育所機能を持たせて、東側は公園化しておいて運動会など全員で遊ぶときに使うことにはどうにかと考えている。

**Q** 用地が本業縦貫道を挟んで東と西になる。非常に交通量の多い道路を通ることになるがどうか。

**A** そこには幸い地下道がある。しかし、もう少し地下道を行き来しやすくするため、階段部分をスロープにするなど手直しする必要がある。



**Q** 子育て支援拠点機能を持った保育所は、いつから使い始めるのか。  
**A** 今年度に設計し、来年度に工事するので、19年4月からはなると思う。

**Q** 穂積駅も本業縦貫道の東側にあり、東側の方が便利である。面積も東側の方が広いので、東側に建てた方が良いのでは。

**A** 確かに施設の利便性からすると東側の方がいいと思う。しかし、そうすると東側の建物（現在の別府保育所）を全部壊してから工事になるので、工事期間中は保育所が運営できない。

**Q** 工事期間中のことは一時的な不都合で、西側に建設すると不便な状態がずっと続く。一時的に工事の関係で不便であっても、東側に建設すべきでは。  
**A** そのためには保育所の仮設施設を西側に造り、それをまたすぐに壊さなければならぬ。この費用だけでも数億円がかかると思う。

行き来の不便さを最小限にする努力は当然必要だが、費用対効果を考えると西側に建設した方がいいと判断している。

**Q** 当事者、つまり現場や保護者の声は聞いていないのか。

**A** どういうふうな建設するかという点については、特に聞いていない。

**Q** 一時的には経費がかかるかもしれないが、利便性や広さなどを考慮して将来を展望した場合、東側に建てるべきだという意見の議員が多い。こうした意見について、どう考えるか。  
**A** どれくらいの違いが出てくるのかを説明させていただいたので、その中で

ご検討いただきたい。

**Q** その説明の後においても、議会が総合的に判断して東側に建てるべきであるとした場合は、議会の権能を尊重して対応されるか。

**A** 最終的に「たとえ何億円かかったとしても構わない、経費が高くなってもやれ」と議会が決定されれば、議会の意見は十分に尊重したい。

## 付帯決議 可決

子育て支援拠点の設計監理委託料について慎重な執行を求め

一般会計補正予算（第3号）を可決した後、堀孝正議員からこの予算に対する付帯決議案が提出された。

付帯決議案は、「子育て支援拠点施設の計画にあたり、その建設場所や将来の幼保一元化を見据えた施設のあり方について、なお検討の余地がある。したがって、子育て支援拠点整備費の設計監理委託料の予算、3100万円の執行にあたっては、契約締結前に議会と充分な協議を行うなど、慎重な執行を求める。」もので、採決の結果、賛成多数で可決した。

## 市長給料の2割減額案 否決

定例会最終日の10月21日、西岡一成議員から「瑞穂市常勤の特別職職員給与に関する条例の特例に関する条例案」が提出された。

条例案の内容は、ことしの11月から再来年の5月（市長の任期満了日）までの1年7カ月間、市長の給料を2割減額しようとするもので、提出の理由は「固定資産税の減免につき松野幸信市長に条例違反があったことから、市民より市政の負託を受けた者としての責任を明確にするため」としている。

西岡議員は「市長の給料を1年7カ月、2割減給すると約300万円になる。固定資産税の減免申請書を提出せずに減免されていた金額は、時効になっていない5年間分だけでも約500万円になるはずだ。残りの在任期間中、給料を2割カットして、けじめをつけていただきたい」と趣旨説明をした。その後、質疑・討論なく、採決の結果、賛成少数で否決した。

なお昨年12月議会では、固定資産税の減免につき手続上の誤りがあったことに対する監督責任を取るため、市長と助役の給料を減額する条例を市長が提出し、議会が全会一致で可決したので、市長はことし1月から3月までの3カ月間、助役は1月の1カ月、それぞれ給料の1割を減額していた。

## 道路特定財源制度の堅持に関する意見書(要旨)

瑞穂市は、一般国道21号を始めとする主要幹線道路が通っているものの、朝夕の交通量が激しく、慢性的な渋滞に對する対策が強く求められている。また、少子高齢化が急速に進む中、歩行者等の交通弱者に対する安全対策も市民の強い要望であり、歩道の整備やバリアフリー化等、速やかに進めていかなければならない対策を多く抱えている。さらに、新市の一体的な発展のためにも地域をつなぐ道路整備が緊急課題となっている。

こうした中、道路特定財源について一般財源化する動きが見られるが、交通安全対策を含む道路整備を緊急かつ計画的に行うためには、道路特定財源の確保は必要不可欠であり、一般財源化することなく、すべて道路整備に充当すべきである。国におかれては、道路特定財源制度を堅持するとともに、遅れている地方の道路整備に積極的に充当されるよう強く要望する。

## 米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める意見書(要旨)

BSE（牛海綿状脳症）は、その発生原因も科学的に十分解明されておらず、国民の不安が続いている。

国内でBSE感染牛が確認されて以来、政府は諸対策を講じて、牛肉に對する信頼回復に努め、米国でBSEの発生が確認されてからは、米国産の牛肉及び牛肉加工品の輸入を禁止している。しかし、政府は新基準を適用し、米国産牛肉等の輸入再開に向けた動きを進めている。

米国産牛肉のBSE対策は、検査体制などが日本に比べて不十分であり、拙速な輸入再開に反対する。

国内においては、監視体制の構築、対策強化を行うとともに、検査感度を改良する技術開発を一層進めること。各自自治体で行う全頭検査に對しては、財政措置を継続すること。

## アスベスト対策を求める意見書(要旨)

アスベスト（石綿）製品を過去に製造していた企業の従業員や家族、工場周辺の住民が、アスベストによると思われる中皮腫（胸膜や腹膜を覆う薄い中皮にできるがんの一種）や肺がんや死亡した事例が相次いで報告されている。アスベスト被害に對する国民の不安は非常に高まっており、正確な情報を求める声が強くなっている。また、アスベストが原因とされる健康被害を受けながら労災補償されていない労働者や、さらには

家族・周辺住民の被害者からも救済を求める声が出ている。こうした事態を受け、政府は先般「アスベスト問題に関する関係省庁会議」を設置し、実態把握、相談窓口の設置等の取り組みを進めているが、国民の安全を確保し、被害者の救済を進めるための包括的な取り組みを求め、早急に実施するよう強く要望する。

## 会議録をインターネットで見ることができるようになりました

議会の会議録を瑞穂市の公式ホームページに掲載しました。会議録とは、会議の次第をそのまま記録した公文書です。掲載したのは、瑞穂市となった平成15年からの本会議の会議録で、議場の発言がそのまま記載されており、審議の内容や経過を詳しく知ることができます。

会議録をインターネットで見ると、瑞穂市の公式ホームページから「議会について」議

会議事録」を順にクリックします。

また、インターネットの環境がない方は、これまでどおり市役所の穂積庁舎と菓南庁舎、市立図書館の楽修館と西部複合センター分館の4カ所で会議録を閲覧することができます。ただし、会議録を作成するには約2〜3月かかるため、ごく最近のものは掲載・閲覧できませんのでご了承ください。

### 常備消防の体制は

#### 市長 市単独で整備する

Q 今後の常備消防体制の整備方針は。

A 市長 平成19年度末に岐阜市への消防事務委託が終了することから、市全体で本業消防へ加入する方向で協議を進めてきた。しかし、各市町の環境や事情が違い、将来整備すべき体制や組織の考え方が一致しなかった。市としては単独でいくことにしたが、市民やまちの

安全・安心をできる限り高いレベルで保持することが一番基本である。

Q 市単独となった場合でも、消防力の整備指針から見ても、現南署は残す必要がある。市長の考えは。

A 市長 絶対に残すと明言はできない。これから検討する。

#### 収入役を空席にする

ことについて

Q 県内21市のうち7市が収入役を空席にし、その事務を助役に兼掌させている。人件費削減のため収入役を空席にする考えはないか。

A 市長 収入役は独立した権能を持ち、公金の取り扱いを監視する職務がある。単純にコストだけを考える

なら廃止してもいいと思うが、収入役の職務の持つている意味を考えると、極めて重要なポストであるから、空席にする考えはない。

瑞穂市第1次総合計画策定について

Q 計画策定に向けての基本構想は。

A 市長 審議会で検討していたらだいたいいるが、市民

#### その他の質問

参加・協働のまちづくり」を基本的コンセプトとされている。

石綿(アスベスト)問題への対応について  
・普通財産(農地)の未利用地の財産処分単価及び処分方法について



若園五朗議員



南地区にある本業消防の南署

### 携帯メールの連絡網を

#### 市長公室長 調査研究したい

Q 現在、有事の際における連絡は防災無線やFM放送などを利用して広く市民にお知らせしている。対象者を限った連絡、例えば各校区の不審情報や火事などが起きたときの消防団への連絡などを携帯電話のメールシステムを活用し、市が一括して行なうことはできないか。

A 市長公室長 携帯電話メールを利用した情報伝達システムは、行政情報のうち必要な情報を必要な人へ伝達するシステムなので、十分活用できると思う。し

木造住宅の耐震対策として、耐震診断助成金や補強工事補助金が支給されている。これと同様に、アスベストの調査や除去工事を行った者に助成金を支給する考えはないか。

民間のアスベスト調査・除去工事に助成金を

Q 公共施設はもちろんだが、民間のアスベスト対策をどう考えるか。市内にアスベスト使用している民間企業の建物や民家があるかもしれない。

A 市長 価値のある提案だと思う。一度よく検討したい。



FM放送もくようみずほ785収録の様子(=穂積庁舎のさくらスタジオにて)



篠田 徹議員

かし、個人情報である大量のメールアドレスを市が管理していくのも、なかなか難しい。だが、示唆に富む指摘なので、今後どのような活用ができるかなど調査研究したい。

#### その他の質問

道路について  
・大学と地域商店街の連携について  
・児童にかかわる担当課の考え方について

### 減農薬に必要なフェロモン剤に助成を

#### 都市整備部長 できれば来年度から導入したい

Q 柿振興会は来年度から、県が推進する「ぎふクリーン農業」を実施する。

これは試行的に農薬の30%を削減したが、減農薬に必要なフェロモン剤に市

から助成できないか。

A 都市整備部長 農産物の安全・安心を考え、できれば来年度から導入したい。

#### 今後の下水道事業計画について

Q 今年度の工事が完了すると面整備率は何%になるか。

A 水道部長 別府地区のコミニティプラントは100%、西地区の特定環境保全公共下水道は88%である。

Q 完成に近づいているが、今後の計画は。

A 水道部長 内閣府の構

造改革特区、地域再生計画の汚水処理施設整備交付金制度の活用を念頭に、市全体の生活排水処理整備計画を策定して検討する。

Q 中地区の4自治会から提出された下水道整備の早期実施要望をどう考えるか。

A 市長 要望は旧南町時代の構想に基づいたものだと思うが、当時の計画どおり人口増加が見込めるかなど、中地区だけでなく西地区なども含めた市全体の見直しを進めている。



柿の農薬削減に助成を



小寺徹議員議員

#### 給食センターの建設と運営の方法について

Q 地元から提出された建設反対署名の対応は。

A 教育次長 先日、会って話をした。自治会長さんと相談いただければ、説明会を行う用意もある。

Q 今後の運営方針は。

A 教育次長 現時点では公設公営方式を考えている。

### 穂積駅の待合室は

#### 都市整備部長 ホームのベンチでお願いしたい

Q JR穂積駅の待合室は、これまで改札口北側にあつたが、エレベーター設置工事のためなくなっている。工事完了後はどうなるか。

A 都市整備部長 JRによると、「エレベーターと多目的トイレを新設するので待合室のスペースが無くなり、設置は不可能である。待ち時間も比較的短いことから、ホームのベンチ(約30席)でお願いしたい」とのことであった。

Q ならば、市がこれに代わる施設を駅北の市有地などに設置できないか。

A 都市整備部長 駅前整備などを考えつつ、将来的にできればいいと考えている。

Q 基本的には市の財産は積極的に活用したいと考えている。その場合に公共性、その地域のためになるかどうかを大いに考えるべきだと思う。

A 市長 駅北の市有地を使うこと



安藤由庸議員

によって、駅周辺の活性化や駅利用者の利便性を上げる機能などを考えながらやっていく必要がある。



改築工事中のJR穂積駅

Q この行政情報コーナーは(株)プラントさんのご厚意で設置されている。普段は瑞穂市のほか安八町、墨俣町の広報誌やパンフレットが置いてあるだけで、有効に活用されているとは言い難い。その他の利用としては、岐阜北社

会保険事務所が5回の年金相談を予定している。今後は、社会保険労務士、司法書士、税理士などによる各種相談も考えられるので、(株)プラントと協議して進めていきたい。

行政情報コーナーの有効活用は

Q プラント6内に設置してある行政情報コーナーについて、今後の有効的な活用方法を検討されているか。

# アスベストによる健康被害、市の取り組みは

## 保健センターに相談窓口を開設

市民部長

Q 稲里のある企業は、以前アスベストを使用していた。周辺住民の健康被害について市の取り組みは。

A 市民部長 7月6日、企業から市に対して近況報告があった。翌7日に保健センターに相談窓口を開設し、現在までに18件の相談を受けた。

## 柿産地構造支援基金制度について

Q 富有柿発祥の地は瑞穂市居倉であるが、産地間競争の激化等で厳しさが増している。市としての取り組み状況は。

A 整都市整備部長 柿振興会などの生産者側が販売ルートの拡大、将来の担



松野藤四郎議員

Q 地域住民の不安を解消するため、企業が健康診断（レントゲン撮影）を実施した。何人が受診し、結果が判明するのはいつか。

A 市民部長 10月13日に実施され、96人が受診された。結果は約1カ月後に判明する。



厳しさが増す柿生産

Q 手の確保及び普及センターの指導などをもちに品質を向上することに対して、柿産地構造支援基金制度による産地メニユーを通じて支援する。

A 整都市整備部長 県が2分の1、市と生産者が各

Q 価格が著しく低下したとき交付金が支払われるが、その算定方法や基準は。

A 整都市整備部長 県が2分の1、市と生産者が各

Q 市営駐車場の管理について

その他の質問

# 公共施設のアスベスト調査は

## 専門機関に調査を委託する

総務部長

Q 市の公共施設のアスベスト使用状況と今後の対策は。

A 総務部長 今回の補正予算で調査費を1千万円計上させていただいたが、専門機関に調査を委託する。調査結果でアスベストの

Q 使用が確認された場合は、専門機関と協議して適切な安全対策を講じたい。

A 一般住民や元従業員の健康相談窓口は保健センターであるが、その指導内容は。

## JR穂積駅及び駅周辺整備の総合的改善計画について

Q 名鉄揖斐線が廃止され、乗降客の送迎自動車が増加し大変混雑している。新市建設計画には、市民生活に必要な機能を提供する都市拠点としてJR穂積駅周辺地区の総合的な整備を進めます」とある。具体的な改善計画は。

A 調整監 本年度は駅構内にエレベーターを設置し、駅南の県道は段差を解消するなどのバリアフリー対策を実施する。今後も引き続き検討したい。

Q 中心市街地となる駅周辺地区の総合的な整備は、将来のまちづくりの方向性を見据え、穂積駅の持つ機能や可能性をどのように生かす、市民生活や福祉の向上に役立てるか十分に議論し検討していく必要があると考える。



バリアフリー対策工事を行なう駅南の県道



広瀬捨男議員

A 市民部長 相談は非常に多岐にわたるので、それぞれ専門の相談窓口等を紹介させていただいている。市内には元従業員も非常に多く居住されているが、会社側が住所の判明している元従業員全員に健康診断の案内を発送され、随時診断を実施していると聞いている。

# 固定資産税未納分の支払いを

## 適切な方法がない

市長

Q 減免申請書を提出せずに固定資産税の減免を受けていた案件が24件ある。この中には松野市長も含まれるが、法律に基づいて課税する最高責任者が市長である。最高責任者と一般納税者、このことをどう認識しているか。

A 総務部長 課税庁側の責任者は市長の松野幸信氏であるし、減免を受けたのは個人

Q この問題を早く、厳正に、的確に処理するため、自分の行動で示すことが必要であると思うが、市長の認識は。

A 市長 この問題は、法律、条例、規則に従って、きちつと整理していくこと



山田隆義議員

Q 基本的な考え方で、今の制度上で支払うことはできないか担当に十分検討させたが、課税することはできないというのが結論である。

A 市長 この問題は、法律、条例、規則に従って、きちつと整理していくこと

## 敬老会について

Q 内容はさまざまであったものの、市内92自治会のうち83自治会が敬老会の祝賀行事を実施されたようである。しかし、実施されなかった9自治会の対象者については、どう対応するつもりか。

A 市長 実施されなかった理由、状況などをよく調査してから対応を考える。



自治会により盛大に開催された敬老会（＝本田団地公民館）

## その他の質問

・福野助役辞職勧告決議案の議決に伴う処理について  
・平成16年度の一般会計予算決算書について



# 通学路の点検状況は

## ほとんどの校区は年4回

教育長

Q 市内の小学校、中学校ごとにされる通学路の点検は、年間何回ほど、どのような方法で行われるか。

A 教育長 実施時期や方法は各学校によって違うが、ほとんどの学校は年4回通学路の点検している。

Q 一斉下校時に教職員や保護者が児童とともに通学路を確認をする。明らかにな

った問題は、学校、PTA、地域、教育委員会、都市整備部が連携し、それぞれが

Q 梅雨時に曇らないカーブミラーを設置したり、「この先、通学路あり」という標識を設置する考えは。

A 教育長 毎年たくさんの要望が出てくるが、優先順位的なものもあると思う。専門的な都市整備部の意見も確かめながら、順番にひとつずつ対応している。

## 校区別地域活動について

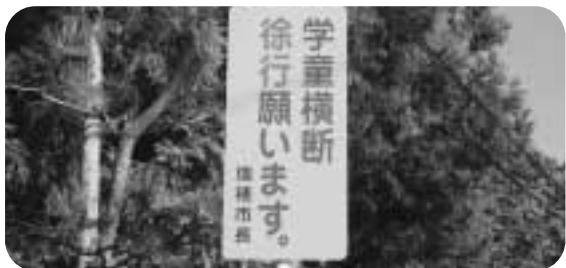
Q 各校区の地域活動は計画どおりに実施されているか。また、教育委員会はどのような指導をしているか。

A 教育長 校区活動は、今年度から「地域コミュニケーション活動事業」という事業

名で呼んでいるが、本当に瑞穂市の誇れる事業であると思っ

Q 運営は活動委員会の自主性・主体性を尊重することを基本にしている。活動委員会が事業計画を主体的に作成して、実際の運営がされている。

A 教育委員会は「地域におけるスポーツ、文化、ボランティア活動等の自治会を



ドライバーに注意を喚起する標識



浅野健二議員

核とした地域コミュニケーション活動を通して、住民相互の交流を図るため地域コミュニケーション活動事業を実施する」という趣旨の要綱を作成し、職員はこの要綱に基づいて各種会合などを通じて役員の方などの求めに応じて相談に乗ったり、助言をしたりしている。

### 財政の公表を分かりやすく

#### 市長 スタイルは考えてみたい

Q 市の運営で学童保育ができないほど市の財政は厳しいのか。人口が同規模の自治体に比べて扶助費を3分の2しか出せないほど財政は厳しいのか。

A 市長 十分引き締めた運営をしているので単年度で見ると成り立っているが、

将来は課題が非常にたくさんある。それに対応するための力をつけていくことを考えると、やはり厳しいという前提で運営を考える。

Q 市の財政は苦しい、赤字だと多くの市民が誤解している。豊かな財政状況である。決算の公表の仕方

したかったが、皆さん方の意見をできるだけ聞こうと、3月に延ばしている状況である。これからは意見がある



熊谷祐子議員

通年単位にするなど、理解しやすい形でホームページや広報を使って公表すべきでないか。

A 市長 決算の公表のあり方については限られたスペースであるが、一度スタイルは考えてみたい。

れば聞いていきたいし、ホームページに載せることができれば考えていきたい。



瑞穂市の公式ホームページ

Q 第1次総合計画やマスタープランの策定や意見募集をホームページに全く掲載しないのはなぜか。

A 市長公室長 総合計画の策定にあたっては、審議会でのいろいろと審議していただいている。計画を策定していることや、審議会にご紹介する意見を募集していることは広報誌でお知らせした。

本日は12月に議会へ提出

### 心が触れ合う まちの推進は

#### 市長 努力を重ねている

Q 昨年6月議会の私の一般質問に、市長は「心と心が触れ合う温かいまちをつくっていききたい」と答弁された。これまで、どのように推進されてきたか。

A 市長 まだ具体的に何

#### 16年度の決算剰余金について

Q 16年度決算の剰余金は12億円で、基金の積立金や市債の繰上償還を含めると実に27億円(当初予算の約22%)となる。このような決算をしている自治体は県内の市町村にも無い。

A 市長 自治会から要請がある防犯灯の設置については、ほとんど実施できていると認識していたので意外だが、一度よく確かめてみる。



夏祭りでの市民の交流(=下生津地蔵祭り)



堀 孝正議員

#### 辞職勧告決議の 対処は

Q 6月議会で議決した助役の辞職勧告決議についてどのように責任を取ったのか。

A 助役 市長から口頭で厳重注意を受けた。

A 市長 議会で助役の辞職勧告決議が可決されたことは、非常に重く受け止めています。処分の程度については、法律、条例と瑞穂市懲戒処分内規を検討して、厳重注意とした。

### 少子化対策は

#### 子育て環境の整備を進めたい



桜木ゆう子議員

Q 女性の社会進出により婚期も遅くなり、一人の女性が生む子どもの数は年々減少し、ますます少子化が深刻になっている。少子化対策についても分野が広いが、どんなことを考えているか。

A 市民部長 国では15年7月に次世代育成支援対策推進法を制定し、育児休業制度の確立や児童手当の拡充がされた。

市では昨年度、瑞穂市次

世代育成支援行動計画「みずほ・未来の子どもたち21」を策定し、子どもの幸せと健全な成長を願い、安心して子育てのできる環境を整備することが少子化対策につながるかと考えている。具体的には、今年度から子育て相談員を配置し、健診や各種保健事業の際に相談を受け付けたり、小中学校では子ども相談窓口を開設したり、児童虐待等の通報に関する連絡体制も確立

した。来年度は清流みずほで3歳未満児の保育の受入を拡大し、延長保育、子育て支援センター事業の充実など子育て真っ最中のお母さん方の支援を行っていく。

Q 子育ては親だけがするものではなく、社会で育てている。しかし、社会の風潮として、思いやりや感謝する心が欠乏しているように思えてならない。こうした教育も必要と思うがどうか。

A 市長 少子化対策はローマ時代から成功した例は無い。女性が子どもを産むか産まないかの問題であるので、これという決め手は無い。だが、少なくとも子どもたちが健全に、しっかりと次世代



すくすく広場で対応する子育て相談員(=保健センター)

その他の質問  
・アスベスト対策について  
・職員の健康管理について

### 固定資産税未納分の減給を

#### 減給する理由がない



西岡一成議員

Q 市長は固定資産税の未納分について課税以外の方法で支払ってもらいたいと言われていたが、どういう方法を検討されたか。減給は検討されたか。

A 市長 検討したが、適切な方法が見つからない。減給は、どういう理由で減給するのか理論的に説明がつかない。

Q 昭和53年に唯一提出された減免申請書と証明願は市長の自筆と確認できた。ならば、昨年9月議会で、私は減免制度があることは知っているが、どういう手続をしていくかは今回指摘されるまで知らなかったとする市長の答弁は事実と反する。

A 市長 提出する書類に必要だからということやサインをした。サインをしたことと手続の詳細を熟知していることは別の問題であ

る。市長は減免申請の手続をしたことがあり、手続は知っていた。最低でも自分が行政のトップにいた時から、条例の規定どおり毎年減免申請書を提出すべきであった。それを怠り条例違反の状態を放置したのであるから、責任を事務方に転嫁して自分の責任を回避することは許されない。これが減給の理由にならないのか。

事務処理のミスについては監督責任を取って3カ月10%の減給をさせていただいた。

その他の質問  
・助役に対する辞職勧告決議可決後の市長の対応について  
・アスベスト問題について



# 議員紹介です

## 藤橋礼治

文・藤橋美咲（生津小5年）

私のおじいちゃんは、三つの顔をもっています。一つ目は、背広を着ている時、二つ目は、私達にやさしくしてくれる時、三つ目は、お百姓をしている時。おじいちゃんは、小さい頃からいつも、お祭りや、お寺につれてつてくれました。その時分かったのは、「手を二つに合せて目をと

じるんだよ。」と語ってくれた事は、今でも忘れません。次は、田畑の事です。いつも米を作ったり、柿や野菜などを育てています。時々、私も手伝います。でも、私は少し手伝うと、「つかれたあ、もうやめた」と、あきらめてしまいます。でも、おじいちゃんは、汗を「ポタポタ」流してがんばって働いています。仕事をしている時に、ジューズやおやつを持っていくと、「ああー休憩するか、休憩はいい

なあ」と、語ってくれるのが私は、すごくうれいです。「おじいちゃんの作るお米が一番、おじいちゃんの作る柿と野菜も一番。」と、おじいちゃんに「よーし、またがんばるぞ。」と言ってくれました。そんな、おじいちゃんが一番一番の大好きなおじいちゃん

です。今日は、おじいちゃんと二人で、柿を取りに行きました。また、お手伝いをするので、いつまでも元気でがんばって下さいね。



## 編集後記

地球温暖化のせいかわらなくなった夏も過ぎ、寒さが身に染む季節になりました。9月定例会の会期が32日間と長期に渡ったため議会だよりの発行が12月になりました。9月議会では、緊急を要するアスベスト調査、子育て支援センターの建設など瑞穂市の将来にとって重要な議案が提案され審議されました。瑞穂市のホームページでも会議録や議会だよりを掲載していますのでご覧ください。

## 小寺 徹

大きくておいしい柿づくりがめざす

私は、50才で、名古屋水道局を退職し柿づくりをはじめました。柿は植物で、天候に左右されます。私はそれを克服するために、新技術の栽培にとりくんでいます。湯水を克服するために自動散水できるポット栽培、台風被害を少なくするための柵栽培をおこなっています。

柿の価格は安値で低迷しています。農産物の輸入が増加し、農産物全体が低価格になっているのが原因だと思っています。このままでは、日本の農業は減んでしまいます。

農業が再建できるよう議会ががんばります。



## 日本共産党町議に

私は、名古屋水道局で働いているとき、労働組合の活動をしていました。

そこで、労働者のくらしを守り、働きやすい職場づくり、日本の平和をめざしてがんばっている日本共産党を知り入党しました。10年前の巣南町議選に日本共

産党から立候補するよう要請を受けました。住民のみなさんの要求を議会にとりその実現のためにがんばる行政をしつかり監視をしないをなくす。

議会や町政の動きを「すなみ民報」を発行し、住民のみなさんにお知らせする三つの公約をし立候補しました。多くのみなさんの御支援で第二位で当選させていただきました。それで三つの公約の立場で議員活動をおこなっています。

平成17年第3回定例会は平成16年度決算で行政当局が執行した財政支出を議会として十二分に審議しました。議会は、貴重な税金を市民の要望に沿うよう適正に効率よく使用しているかどうかの視点で審査し、認定しました。わかりやすい議会広報にするため、内容の充実と向上を図っています。市民の方のご意見もお待ちしております。（若園）

